

体験活動参加型（中学校）

学校名等	安八町立登龍中学校
実施日時	平成30年11月24日（土）午前9時～ 2時間30分程度
会場	安八町立登龍中学校 美術室
参加人数	22名（生徒13名、保護者等9名）
学習課題（分野）	己書教室（カルチャースクールの活動）
運営者の願い	中学生を持つ家庭では、日常、親子で同じ机に向かい、ゆっくりと作品を作る機会は少ない。そこで、作品の制作活動や鑑賞を通して、家族や地域の仲間との交流のきっかけを作ったり、深めたりして、お互いのコミュニケーション活動の一助となることを願っている。

学 習 の 内 容

< 実施の流れ >

- (1) 開講挨拶（母親委員長）
- (2) 講師の紹介と挨拶 ★講師・・・己書 言霊道場師範
- (3) 「己書」の制作に係る説明
- (4) 制作活動と交流活動



↑ ポストカード制作の様子

< 制作内容 >

○以下の3種類のものに「己書」を書く。(3)は希望者のみ制作。

- (1) ポストカード
 - ・ 講師の見本作品を見て、練習用の紙に筆ペンを使って「己書」を書いてみる。
 - ・ 練習後、慣れてきたら作品作りをする。書く文字は「ありがとう」。
 - 親子で批評し合いながら制作する。
- (2) ポチ袋 → 親のみ制作
- (3) トートバッグ → 希望者が制作（生徒は全員制作。親は希望者のみ）
 - ・ 布用絵の具を用いて、自分の名前や描きたい絵をトートバッグに描く。
 - ・ 参加者一人一人について、名前を見本を参考に、文字のデザインを決め、それぞれに個性的な「書」や「イラスト」を描いた。その際、親子で相談したり、仲間の作品と交流し合ったりした。



デザインを工夫して作ったトートバッグ ←

< 閉会 >

- (1) 参加者より、お礼の言葉
- (2) 講師より、あいさつ
- (3) 閉講挨拶（母親委員長）

< アンケートより >

この作品作りを通して、物作りの楽しさを改めて感じることができました。「ありがとう」の文字を書き、みんなの作品は、一人一人の個性があり、人それぞれの味が出ていてすごくおもしろかったし、「己書」のすばらしさを実感しました。また作る機会があったら作品を作りたいし、この楽しさを広めていきたいです。(生徒)

私はあまり字をきれいに書けないので、うまくできるか心配でした。でも先生が「字がうまくなくても大丈夫」と言うてくださって、楽しく書けました。親や友達と自由に字を書いたり、かばんに絵を描いたりして本当に楽しかったです。この体験で、自由に字を書くことが好きになったので、家でもやりたいです。また、母と、休日に「己書教室」にまた行ってみたいと思いました。(生徒)

はじめは「こんなに上手に書けるはずがない！」と、ある意味自信をもっていたのですが、実際に体験してみたら、うまく書けなくとも、何となく味のある書になっていたのではないかと思います。これも講師の先生のアドバイスのおかげだと思います。子どもとも、試行錯誤しながら、吟味合って作品を仕上げることができ、楽しかったです。(保護者)



講師の方は、上り立つ中学校の校区の保護者でもある。地域の方から、ぜひこの方の講習を受けたいという声があったため、本企画を計画した。



参加者は、初めての「己書」に興味をもち、熱心に作品を作る様子があった。家庭でもこの場で学んだことを試し、字を書くことに自信がもてるようになったという感想もあった。

